

「2020キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国」表彰式・記念講演会



2021年1月20日(水)広島市において、「2020キャンパスベンチャーグランプリ中国(以下、CVG中国)」の表彰式を開催した。CVG中国は、中国地域の大学・高専等の学生を対象に、起業家精神を醸成し、創造性・チャレンジ精神に富んだ人材を育成することを目的として、新事業・商品のアイデアやビジネスプランを募集・表彰するもので、当連合会、日刊工業新聞社、中国地域産学官コラボレーション会議(※)などで構成する実行委員会(委員長:当連合会荻田会長)が運営している。19回目となる今回は、129件(20校)の応募があり、その中から最優秀賞など10件の受賞プランを表彰した。
※中国地域の産学官連携を推進する主要87機関による組織体。当連合会が事務局を務める。

■主催者挨拶

2020キャンパスベンチャー
グランプリ中国
実行委員会 委員長
(一社)中国経済連合会
会長 荻田 知英



19回目の今回は、20の大学・高専等から過去2番目となる129件の応募をいただき、本日、最優秀賞2件をはじめ、各受賞プランを表彰する運びとなった。受賞された皆様に、心からお祝いを申し上げるとともに、審査委員の皆様、大学、企業、行政関係者の皆様に深く感謝している。

さて、昨年は新型コロナウイルスにより生活環境の急激な変化を余儀なくされ、人の移動や接触が制限されるなど、地域社会への影響が懸念されている。しかしながら、先月、6年に及ぶ宇宙探査の成果であるカプセルを地球に届け、すぐさま新たなミッションに旅立った「はやぶさ2」の姿に、未知の世界に果敢に挑み、幾度も現れる困難に立ち向かう勇気と希望を、多くの方が抱いたことと思う。コロナウイルスは社会に歪を生んでいるが、社会全体のデジタル化を一気に進めるなど、

大きな変革の契機となる可能性もある。逆境に立ち向かい、挑戦する意欲を持ち、創造性に溢れる人材が今こそ求められている。

CVG中国では、学生のビジネスプランを競うコンテストを通じて、このような人材の育成を目指している。CVG中国をきっかけに起業する学生の輩出はもとより、地域の企業の中で、新しい事業の開拓を先頭に立って推進し、地域に魅力ある産業を生み出す原動力になることを期待している。

今後もCVG中国の一層の充実と、それを支える先生方や学生とのネットワークづくりに努めていくので、皆様の変わらぬご支援を賜りたい。

■表彰

○最優秀賞(2件)

「就活落ちたらABABA」

岡山大学
久保 駿貴さん



(プラン概要)

新卒の採用試験で最終面接に落ちた学生情報を企業間で共有し、企業と学生双方に効率的な採用と就職をもたらす事業。不採用を通知する企業は、学生にA B A B Aへの登録を促し、その学生の評価、不採用理由、推薦文などの情報をA B A B Aへ送る。採用したい企業は、学生の一定レベルの身元が確認でき、条件を満たす学生が効率よく探せる。内定・採用すると1人につき40万円を支払う。学生は、A社での評価がB社に継承され、効率的な就職活動ができる。

「Video Vendor (ビデオ・ベンダー)

～SNS・サイネージ向けかんたん動画作成サービス～

広島大学

菅原 政行さん



(プラン概要)

パソコンやスマートフォンで質問に答えるだけで、ユーザーに著作権があるCM(コマーシャルメッセージ)動画が簡単に作れる。店頭で流せるようディスプレイなどもリースで提供するビジネス。500種類以上の高品質の見本から動画の構成、色やイメージといった質問に答えると、条件に合うひな型が幾つか提案され、それに文字や写真等の素材を挿入すれば約30分でCMが完成する。

■審査委員長講評

広島県発明協会会長

マツダ株式会社

シニアイノベーションフェロー

人見 光夫氏



今年は、コロナ禍のため応募者が少ないのではと心配していたが、昨年以上の応募があったと知り、非常に頼もしく感じている。

今回、審査委員長として2回目の審査に臨んだが、最優秀賞を受賞した2名は既に起業されており、実現性の面が秀でたものになっていたと感じている。

特に岡山大学の久保さんは、昨年も最優秀賞を受賞されており、そのビジネスプランは海外からの旅行者をターゲットとしていたことから、このコロナ禍でどうなっているかと心配していたが、今回受賞されたビジネスプランを既に起業されていることを知りそのバイタリティーに敬服の念を抱いている。

今回、残念ながら入選できなかったプランや最優秀賞に選ばれなかったプランも、非常に良いものが多く、今回で諦めるのではなく、ブラッシュアップして来年以降もチャレンジしてもらいたい。

我々が大学を卒業したころは、企業に就職するのが当たり前だったが、最近では起業する学生が増えてきているように聞く。日本は変化のスピードが遅いと世界では評価されているが、本日受賞された方々を含めた次世代の力でこの汚名を払拭してもらいたい。

(担当：菅原)

○その他の表彰

優秀賞	「違法アップロード通報システム『ツーホ』 ーコンテンツを救う、得する「通報」ー」	就実大学 三宅 愁人さん他
	「『ACSS』寝ている間に自動で会議場を設営するシステム」	松江工業高等専門学校 服部 成士郎さん他
特別賞	「スマート農業事業『家畜の健康管理システム』」	広島市立大学大学院 土屋 和也さん他
	「水溶性マスク」	岡山大学 太田 翔也さん他
奨励賞	「教科書サブクリプションサービス『ONS. Bookshelf』」	就実大学 大藪 朋実さん他
	「PCMを用いた快適睡眠環境の提供ーsleep 涼暖ベッドー」	近畿大学 足立 喬昭さん
	「ショッピング・ナビゲーションサービス」	岡山理科大学 森中 晴也さん
	「レンタサイクルCross～人・街・健康を繋ぐ～」	安田女子大学 田中 亜理沙さん他